

JEITA

電子情報技術産業協会規格

Standard of Japan Electronics and Information Technology Industries Association

EIAJ TT-3005A

50 Ω 同軸管用フランジ

Flanges for 50 Ω Rigid Coaxial Waveguides

1992年3月制定

2002年3月改正

作 成

無線通信・放送標準化委員会

Technical Standardization Committee
on Radio Communications and Broadcasting Systems

発 行

社団法人 電子情報技術産業協会

Japan Electronics and Information Technology Industries Association

目 次

1. 適用範囲	1
2. 用語の定義	1
3. 形 名	1
3.1 形名の構成	1
3.2 品 名	2
3.3 適用同軸管の寸法	2
3.4 特性インピーダンス	2
3.5 フランジ形式	2
4. 種 別	2
5. 構造及び形状寸法	2
6. 付属品	2
付表 1	3
付表 2	5
付図 1～17	6
解 説	30
1. 制定の目的	30
2. 制定・改正の経緯	30
3. 審議中問題となった事項	32
4. 主な改正点	32
5. 適用範囲	32
6. 規定項目の内容確認	32
7. 審議委員	33

電子情報技術産業協会規格

50 Ω 同軸管用フランジ

Flanges for 50 Ω Rigid Coaxial Waveguides

1. **適用範囲** この規格は、電気通信用 50 Ω 同軸管の接続部の寸法について規定する。
2. **用語の定義** この規格で用いる用語の定義は、次による。
 - (1) **接続部** 接続部とは、同軸管と他の管とを電氣的及び機械的に接続する場合用いる同軸管部金具及び関連部分の総称をいう。接続部は、使用個所及び形状により、フランジ、アンカーコネクタ、ストレートカップリング及びインナーコネクタに区分する。
 - (2) **フランジ** フランジとは、接続部のうち、同軸管の外部導体と外部導体とを接続するため、その端部にろう付け、その他の方法で取り付けられたつば状の金具をいう。フランジの結合は、原則としてボルト締めにより行ない、またフランジ内面に設けられた溝にガスケット(例 付図 11 の O リング)を併用することにより同軸管内を気密状態にすることができる。
 - (3) **アンカーコネクタ** アンカーコネクタとは、接続部のうち、フランジ付き同軸管の内部導体どうしを接続するため、その両端部に挿入するプラグ状の金具をいう。アンカーコネクタには、フランジのオーバーカット部に適合する絶縁物があり、フランジの結合により固定する。
 - (4) **ストレートカップリング** ストレートカップリングとは、接続部のうち、気密を必要としない同軸管の外部導体どうしを接続するため、その両端部に装着するすり割り溝付きの円筒状の金具をいう。ストレートカップリングによる接続は、原則として金属製バンド 2～4 組を用いて締め付ける。
 - (5) **インナーコネクタ** インナーコネクタとは、接続部のうち、ストレートカップリングを用いた同軸管の内部導体どうしを接続するため、その両端部に挿入するプラグ状の金具をいう。

3. 形 名

3.1 形名の構成 形名は、原則として品名、適用同軸管の寸法及び特性インピーダンス並びに形式で構成し、次に示す例の順序で表示する。

ただし、形式の区分をする必要がない場合は、これを省略する。